

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県地域公共交通協議会	広島電鉄株式会社 湯来	五日市駅南口～杉並台団地～湯来 ロッジ前	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	B	今後、地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、市町と共同して再編を検討する。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標の達成状況については、一部系統を除き輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。一方で営業損益については運賃改定の実施もあり概ね数値自体前年度よりは改善しているものの、いずれも目標達成に至っていないため、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 目標達成に向けた取組については、SNSを通じた観光情報の提供や企画乗車券の販売、沿線学生への支援や助成について関係自治体等と連携し実施しており、当該取組を通じて更なる利用促進に繋げ、路線の維持に努めていただくとともに、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画に基づき、再編を検討するにあたっては、関係自治体等と連携し、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
	広島電鉄株式会社 三段峡	広島バスセンター～可部・加計～三段峡		A	B		
	広島電鉄株式会社 三段峡	広島バスセンター～広島IC・戸河内IC～三段峡		A	B		
	広島電鉄株式会社 琴谷	広島バスセンター～安佐営業所～琴谷車庫		A	B		
	広島電鉄株式会社 津田	廿日市市役所前駅～津田		A	B		
	広島電鉄株式会社 四季が丘	広島バスセンター～市役所・田方ノストップ～四季が丘		A	C		
	広島電鉄株式会社 熊野	広島バスセンター～向洋・矢野駅前・熊野団地～熊野萩原車庫前		A	C		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑦評価結果		二次評価結果	
広島県地域公共交通協議会	芸陽バス株式会社 瀬野・広島	宮の前～海田～広島バスセンター	運転士の確保は難しい状況だが、かろうじてサービス水準を維持できている。競合他社が乗車券システムの対応に積極的なため、定期券の共通利用は維持され混乱は最小限だった。	A	B	(西条・瀬野～広島線、東雲線) サービス水準の維持と安定した運行のため、引き続き運転士の確保に努める。現在の乗車券システムが抱える大きな課題の解決に向けた動きがあり、広島市内のバス事業者や広島市とともに広報や利用促進に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標の達成状況については、一部系統を除き輸送人員・営業損益のいずれかまたは両方の目標を達成できている点については評価できる。また、目標の達成に至っていない部分・系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後、他の交通機関や関係自治体、広島国際空港等の連携により、PRや利用実態に沿ったダイヤ等の見直しを行うことにより、利便性の向上や、新たな需要の取り込みにつながることを期待する。また、サービス水準と安定した運行の維持のため運転士の確保についても積極的に進められることを期待する。		
	芸陽バス株式会社 東雲	宮の前～市役所前～広島バスセンター		A	A				
	芸陽バス株式会社 西条・広島	西条駅前～瀬野駅～広島バスセンター	運転士の確保が難しく、2025年5月より土日祝日において減便した。	A	A				
	芸陽バス株式会社 西条・竹原	西条駅前～新庄～竹原駅	竹原市から路線バスの利用促進のため実証運行の提案があり、実施に向け協議を進めた(2025年12月下旬より1か月実施)。なお、運転士の確保が難しく2025年5月より土日祝日において減便した。	A	C	(西条～竹原線、三原～竹原線) 今回の実証運行の結果やさらなる取り組みを通じ、竹原市と路線のあり方について協議を進める。また、継続課題である路線のPRや沿線の観光地を活用した企画乗車券の造成などにより利用促進に努める。			
	芸陽バス株式会社 竹原・三原	三原営業所～須波ハイツ～中通	既存の企画乗車券の利用は低下しつつある。竹原市から路線バスの利用促進のため実証運行の提案があり、実施に向け協議を進めた(2025年12月下旬より1か月実施)。	A	A				
	芸陽バス株式会社 沼田東	三原営業所～沼田東団地上・本郷駅・松江団地～三原営業所	利用は漸減しているが、路線のあり方についての協議は進めることができていない。	A	C	利用者の減少や運転士不足により今後路線の維持が難しくなると予想される。三原市などと路線のあり方について協議を進めたい。			
	芸陽バス株式会社 白市・空港	ネオホリス北～白市駅・河内インター～広島空港	リムジンバス自体による臨時輸送は実際に何度か実施されているものの、状況によっては当路線による代替輸送も引き続き実施している。	A	B	(白市駅～広島空港線) 広島国際空港(株)と連携し、脆弱と言われる広島空港へのアクセス路線としてのPRと空港の活性化に努めるとともに、これまでの生活路線としての機能も維持していく。			
	芸陽バス株式会社 白市・空港	ネオホリス北～白市駅・元兼～広島空港	広島国際空港(株)よりいくつか利用促進に向けた取り組みの提案を受けており、2026年年初より実施するものもある。なお、広島空港発着の航空利用者の増加により当路線の利用は堅調である。	A	A				
	芸陽バス株式会社 白市・空港	白市駅～河内インター～広島空港		A	A				
	芸陽バス株式会社 豊栄・西条	豊栄～上戸野～西条駅前	沿線の交通空白地解消に向け、2026年年初より当路線との乗り継ぎを想定した乗合タクシーの調査運行が実施されることとなった。なお、運転士の確保が難しく2025年5月より土日祝日において減便した。	A	C	(豊栄～西条線) 沿線の過疎化や運転士不足により、今後路線の維持が難しくなると予想される。東広島市などと路線のあり方について協議を進めたい。			
	芸陽バス株式会社 豊栄・西条	豊栄～高美が丘・西高屋駅～西条駅前		A	B				
	芸陽バス株式会社 安芸南	海田市駅～矢野大浜 フジグラン安芸・矢野大浜～海田市駅	ダイヤの乱れは引き続き多発している。運転士の確保は難しい状況だが、かろうじてサービス水準を維持できている。	A	A	渋滞の頻発により、他の路線と比較してダイヤが乱れやすい状況が続いており、行政への要望を検討したい。なお、サービス水準の維持と安定した運行のため、引き続き運転士の確保に努める。			
	芸陽バス株式会社 竹原・広島	竹原フェリー～竹原駅・河内IC～広島バスセンター	コロナ禍からの回復はそろそろ頭打ちという状況。インバウンド需要の取り込みに向けた施策を準備しているところである(2025年度中に実施予定)。	A	C	(竹原～広島線 高速バス「かぐや姫号」) 竹原市は人口減少が進み中心部のにぎわいが薄れており、路線のPRや沿線の観光地を活用した企画乗車券の造成などにより地域の活性化を目指す。また、サービス水準の維持と安定した運行のため、引き続き運転士の確保に努める。			
	芸陽バス株式会社 竹原・広島	忠海駅前～竹原駅・河内IC～広島バスセンター		A	B				

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
広島県地域公共交通協議会	株式会社中国バス 福山・市系統	福山駅前～中国中央病院～市出張所	沿線自治体と連携し、2025年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。加えて、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は1190万円ほど悪化した	A	B	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標の達成状況については、一部系統を除き輸送人員・営業損益のいずれかまたは両方の目標を達成できている点については評価できる。また、目標の達成に至っていない部分・系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、沿線自治体と連携し、継続して利用実態に沿ったダイヤ改正等により、利便性の向上を図るとともに、運行経費の削減等による収支改善により路線維持に繋がることを期待する。	
	株式会社中国バス 福山・府中系統	目崎車庫～福山駅前	沿線自治体と連携し、2025年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。加えて、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は251万円ほど悪化した	A	C	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める		
	株式会社中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～長江口・バイパス～甲山 営業所	沿線自治体と連携し、2024年10月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。加えて、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は1389万円ほど悪化した	A	B	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める		
	株式会社中国バス 尾道・市系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前)	沿線自治体と連携し、2024年10月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。加えて、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は409万円ほど悪化した	A	B	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める		
	株式会社中国バス 甲山・三原系統	甲山営業所～林崎谷～三原駅前	沿線自治体と連携し、2024年10月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。加えて、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は160万円ほど悪化した	A	B	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める		
	株式会社中国バス 三原・広島空港系統	三原駅前～三原棧橋～広島空港	引き続き沿線自治体と連携し、運行便数は維持しつつ、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は78万円ほど悪化した	A	A	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める		
	株式会社中国バス 油木・福山系統	油木～道上～福山駅前	沿線自治体と連携し、2025年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。加えて、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は1729万円ほど悪化した	A	C	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める		
	鞆鉄道株式会社 洗谷常石	福山駅前－洗谷－常石	フィーダ化を実施する前段として、既存系統の統合により効率化できないかを検討中。	A	C	引き続き、地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、福山市と共同して再編を検討する。		
	鞆鉄道株式会社 瀬戸千年橋	福山駅前－瀬戸－千年橋		A	C			
	鞆鉄道株式会社 小立千年橋	福山駅前－小立－千年橋		A	C			
鞆鉄道株式会社 瀬戸常石	福山駅前－瀬戸－常石	A		C				
鞆鉄道株式会社 阿伏兎	福山駅前－瀬戸－阿伏兎	A		A				
鞆鉄道株式会社 福山内海	福山駅前－瀬戸－内海農協	A		C				

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況		評価結果	
広島県地域公共交通協議会	備北交通株式会社 三城線	庄原駅～ジョイフル・上四十貫～三次駅前	CM放映やチラシ或いはSNSを通して適宜大々的にPRを行うとともに、10カードでの支払いも可能にし、運賃8月からはMOBIRYDAYSでの車内チャージも構築し利便性と利用率の向上を図った 2025年4月1日からのダイヤ改正により格致高校経由便を更に増やし学生への利便性向上を目的として利用者増と増収に努めた(平日1.5回増とダイヤも利用し易いものに変更しサービスの向上を図った) また、土日祝のダイヤについても平日ダイヤの発時刻に統一し分かりやすい表示に努めた	A	C	引き続き関係自治体と連携し沿線施設等への更なるPR及び適切な運行回数、効率的なダイヤの見直しにより利用促進を図る	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、達成に至っていない要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、新乗車券システムの普及を始め、利用実態に応じた運行ダイヤの見直し等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	本四バス開発株式会社 瀬戸田～因島線	瀬戸田港～内海造船・生口橋～土生港前	利用状況に応じ、減便及び時刻改正を行った	A	C	令和8年度にて地域間幹線系統の対象外(運行回数・輸送量)	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 本系統は令和8年度に地域間幹線系統の対象外とはなるが、目標効果について達成に至っていない要因について分析し、改善点を検討することにより、系統の維持につなげていくことを期待する。	
	江田島バス株式会社 4主系統	小用～江田島市役所前～大柿高校前	・PASPYとICOCAは、同じ交通系ICカードであることから、お客様の利用方法や乗務員の操作方法等がほぼ同一であるため、大きな混乱もなく、スムーズに移行することができた。 ・バスロケーションシステムのデータにより整備した「GTFSリアルタイム」情報を公開し、Google マップ等のバス接近情報を反映した経路検索を可能にするとともに、全路線を24時間自由に乗降可能な乗車券(デジタルチケット)を発売し、増客増収を図っている。	A	C	・令和7年3月30日のICOCAサービス開始に合わせてPASPY割引(10%割引)を廃止する等により、増収を図っていきたい。 ・引き続き、バス接近情報を反映した経路検索と全路線乗降可能な乗車券の相乗効果により、増客増収を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、輸送人員において一部系統が目標を達成している点は評価できる。達成に至っていない系統・部分については要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	江田島バス株式会社 14主系統	小用～大君～深江		A	B		今後も、バス接近情報を反映した経路検索、特殊乗車券類の企画・販売により、観光利用も含めた利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	さんようバス株式会社 1系統	太田～明石港大串～太田	本年4月からデマンドバス200円路線バス100円にしたため若干ではありますが利用増が見られた	A	C	デマンドバスの実証運航がこの3月で終わり4月から本格運用のデマンドバスとの共存デマンドバスは料金200円路線バスは100円としてお年寄りに広く利用促進を促しデマンドバスとの共存を図っていく。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、達成に至っていない要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、関係者と連携することで利便性の向上を図るとともに、世代を問わないバスの乗り方教室などの啓発活動等により利用促進に繋がることを期待する。	
	おのみちバス株式会社 如水館線	尾道駅前～長江口～如水館前	ICカードの利用から各運行時間帯において一定の乗客数が確保されていることが確認された。	A	C	今後も利用実態に沿ったダイヤとなるようICカード利用データなどを活用し、利用者のニーズを把握する。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。 目標効果については、達成に至っていない要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、観光利用も含めた利用者のニーズを的確に把握し、利便性の向上を図るとともに、企画券の設定・見直しにより利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県地域公共交通 協議会	瀬戸内産交株式会社 1系統	宮農センター～中国労災病院	関係各所及び観光施設・島嶼部のイベント等で利用はあったが、人口の減少によりバスの利用者は減少している。	A	C	島嶼部は過疎化が進んでおり状況は厳しいが、引き続き関係各所と連携し利用者確保に努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、輸送人員において一部系統が目標を達成している点は評価できる。達成に至っていない系統・部分については要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、関係市町・観光施設と連携し、観光施設へのバス時刻表等の掲示により、観光利用も含めた利便性向上、利用促進に取り組むことを期待する。	
	瀬戸内産交株式会社 2系統	沖友天満宮～中国労災病院		A	B			
	石見交通株式会社 広益線	石見交通本社前～(清流ライン高津川号)～広島新幹線口	・ICカードICOCAの利便性の向上を図った ・外国人観光客割引乗車券の実施	A	A	貨客混載・外国人割引乗車券の実施	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、交通系ICカードのPR、企画乗車券の販売、関係者と連携した路線バス体験乗車会等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	JR/バス中国株式会社 C2	西条駅～交差点～呉駅	令和6年度の2件に対し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が落ち着きを見せていることもあり、取り組み実績は3件だった。 ・2024年10月12日、13日 西条酒まつり 東広島市HP、当社HPに臨時便情報を掲載(西条～呉間他12便運行) ・2024年11月17日 ひがしひろしまメモリアルパレードによる臨時 東広島市HP、当社HP(西条駅～中央図書館前間他28便運行)	A	A	・引き続き関係自治体と連携し、観光イベント時の臨時便情報や、新しくなった乗車券システムの利用方の広報や、他の交通モードとの企画乗車券やデジタルチケットの発売、Google Mapなどへの継続したバス時刻情報を掲載し、バス利用促進を図ることで、恒常的なバス利用に繋げる。 ・運行ダイヤの「C109」の系統では利用者からの声として学校の仕業や職場の就業時間に合わせた改正を求められた。2026年3月に東広島市の兼広の交通結節点整備計画に合わせ大きく運行計画を変更する予定のため、変更時に調節を行う見込みである。 ・恒常的な利用増を目指すことでR6キロ当たり輸送人員から3%増加を見込み、収支率改善を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。	
	JR/バス中国株式会社 C109	賀茂医療センター口～交差点～呉駅	・2025年7月19日 呉海上花火大会 当社HPに臨時便情報を掲載(呉～賀茂医療センター口間2便運行) ・その他広島大学等でのイベント開催時に臨時便や続行便を設定し、当社HPに運行情報を掲出。	A	A		目標効果については、一部系統を除き目標を達成している点は評価できる。達成に至っていない系統・部分については要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	JR/バス中国株式会社 C161	西条駅～郷田～広島国際大学		A	C		今後も、関係自治体等と連携し、関係自治体HP等における観光イベントへのアクセス情報の広報により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	JR/バス中国株式会社 C164	西条駅～庚～広島国際大学		A	A			
	株式会社井笠バスカンパニー 井原・福山系統	井原～御領～福山	バスロケーションシステムを活用した運行実態に沿った所要時分の全体的な見直しを実施し、定時性を向上させることで利用促進ならびに乗客逸走防止を図った。	A	B	利用者の要望や遅延データ、利用実態を集積すると同時に、鉄道との運行間隔調整も実施する。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、バスロケーションデータに基づく遅延対策、及び利用実態、利用者の要望等に沿ったダイヤの見直し、協議会との連携による取組みにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	株式会社井笠バスカンパニー 篠坂・福山系統	篠坂～青葉台～福山		A	B			
株式会社井笠バスカンパニー 中国中央病院系統	福山～市民病院～中国中央病院	A		B				

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県地域公共交通協議会	株式会社ささき観光 おおのハートバス(横断)	JR阿品駅～前空駅～鳴川	ドライブレコーダーやモビリーデイズの乗降データを用いて区間ごとの利用者数を把握し、市と運行事業者で話し合いながら新ダイヤを作成している。ダイヤという商品を現行よりもよい物として利用促進を図る。今年度も、地域行事への参加を行い、利用促進に励んだ。	A	B	令和6年10月よりダイヤ改正を実施しており、昨年度ベースで利用者が増加しているため、わかりやすく利用しやすいダイヤとなっていると考えている。 主な改善点は、運行間隔の均等化や経由地の集約による利便向上。 また、JRや広電電車の到着時刻を意識したダイヤ作成に努める。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。 目標効果については輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、自治体と連携して、広報・ダイヤの見直し等により利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。
	廿日市交通株式会社 佐方ルート	廿日市市役所前駅～佐方～廿日市市役所前駅	JRとの接続改善や所要時分の見直しによる遅延防止、運行経路の決定、1周60分に設定することによるダイヤの改善などを事業者と話し合い、再編を行った。再編後検証として、利用者数が月平均9.8%増となっており、良い再編ができています。	A	A	乗客に対する丁寧な対応や、地域住民からの問い合わせ、特に乗ったことがない方や久しぶりに乗る方からの問い合わせに真摯に対応するなど、一人でも多くの方に利用いただけるように努める。 利用者数を来年度も増加させることを目標とする。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、自治体と連携して、広報・ダイヤの見直し等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
広島県地域公共交通協議会	広島電鉄株式会社 湯来	新規 ノンステップバス1両 既存 ノンステップバス2両	新規でノンステップバス1両を導入した。	A	A	国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところであるが、一部事業者においては既に90%以上達成している点は評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	広島電鉄株式会社 津田	新規 ノンステップバス1両 既存 ノンステップバス2両	新規でノンステップバス1両を導入した。	A	A			
	芸陽バス株式会社 瀬野・広島、東雲	新規 ノンステップ3両 既存 ノンステップ2両	前年度より購入車両が増加した一方、運転士不足により一部のエリアで2025年5月より土日祝日において減便したが、計画的に車両運用をおこない全ての車両において補助路線走行率50%以上を達成した。	A	A	コロナ禍により設備投資を控えていた時期があり、車両更新のペースが以前より落ちている。今後、車両更新を進めるにあたり減価償却費の増加が見込まれるため、運賃改定等により収支を改善する予定だが、引き続き車両補助により負担軽減を図っていききたいと考えている。 なお、運転士不足による急な減便がないとは言えない状況であり、走行率低下のリスクは継続している。		
	芸陽バス株式会社 西条・広島、白市・空港、西条・豊栄	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ8両		A	A			
	芸陽バス株式会社 西条・竹原、竹原・三原、三原・本郷	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ3両		A	A			
	中国バス 福山・府中系統	新規ノンステップ2両	前年度購入無し	A	A	利用実態に応じた運行回数設定に伴う車両の減車に合わせて全体的な更新を図る。		国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところであるが、一部事業者においては既に90%以上達成している点は評価できる。
	鞆鉄道株式会社 新川線	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ2両 ワンステップ1両	ノンステップバス1両、ワンステップバス1両を導入した	A	A	引き続き、補助制度を活用した低床車両の導入を促進したい。		
	江田島バス株式会社 4主系統(小用～大柿高校前)	既存 ノンステップ1両	令和6年10月及び令和7年9月に中型ノンステップバスを各1両ずつ、計2両を導入し、老朽化した小型ノンステップバス2両を減車した。このことによるノンステップバスの運行率に変化はないが、利用者の利便性向上及び利用促進に寄与している。	A	A	引き続き、江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し、利用促進を図る。		
	江田島バス株式会社 14主系統(小用～深江)			A	A			
	JRバス中国株式会社 西条～交叉点～呉 賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉 西条～郷田～広島国際大学 西条～庚～広島国際大学	新規 ノンステップ0両 既存 ノンステップ6両	補助制度を活用した低床車両の導入を検討した。	A	A	車齢も考慮しつつ、計画的に補助制度を活用した低床車両の導入を推進する。		
株式会社井笠バスカンパニー 福山～市民病院～中国中央病院	既存 ノンステップ2両	車両更新を見送った。	A	A	今後も計画的に車両の更新を行っていく			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県東部地域公共交通活性化協議会	日ノ丸自動車株式会社 中河原系統	鳥取駅～山崎橋	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○外国人旅行者を含めた観光利用の促進を図る。 ○事業者、県及び市町村が行っている利用促進の取組を継続し、一般住民を中心とした利用者の増加を図る。 ○GTFSを活用した経路検索システムの普及やキャッシュレス決済の導入など、利用者の利便性向上を進める。 ○交通系ICにより得られたデータを活用した路線の見直しや効果的な取組の実施	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標達成についても概ね達成できており評価できる。 今後も、関係自治体と連携し、案内表示の改善やノーマイカー運動、バスロケーションシステムの活用により、外国人旅行者も含めた利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。また、県内全域での交通系ICカード導入が利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	日ノ丸自動車株式会社 中河原系統	鳥取駅～市内～山崎橋		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 智頭系統	鳥取駅～智頭駅前		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 用瀬系統	鳥取駅～用瀬		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 白兎海岸系統	鳥取駅～鹿野営業所		A	B			
	日本交通株式会社 岩美岩井系統	鳥取駅～蕪島		A	C			
	日本交通株式会社 岩美岩井系統	鳥取駅～長谷橋		A	A			
	日本交通株式会社 八頭若桜系統	鳥取駅～若桜車庫		A	A			

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県中部地域公 共交通協議会	日ノ丸自動車株式会社 上井・三朝系統	倉吉駅～三朝車庫前	事業者、県及び市町村が行っている 利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○外国人旅行者を含めた観光利用の 促進を図る。 ○事業者、県及び市町村が行っている 利用促進の取組を継続し、一般 住民を中心とした利用者の増加を図 る。 ○GTFSを活用した経路検索システム の普及やキャッシュレス決済 の導入など、利用者の利便性向上を 進める。 ○交通系ICにより得られたデータを活用 した路線の見直しや効果的な取組 の実施	各系統は、計画どおり運行されており評価 できる。 目標達成についても達成できており評価で きる。 今後も、関係自治体と連携し、ノーマイカー 運動、バスロケーションシステムの活用によ り、外国人旅行者も含めた利便性向上、利 用促進に繋がることを期待する。また、県内 全域での交通系ICカード導入が利便性向 上、利用促進に繋がることを期待する。	
	日ノ丸自動車株式会社 赤碕系統	倉吉駅～赤碕駅		A	A			
	日本交通株式会社 関金系統	倉吉BC～関金庁舎前		A	B			
	日本交通株式会社 関金系統	倉吉BC～明高		A	B			
	日本交通株式会社 橋津系統	倉吉BC～石脇車庫		A	A			
	日本交通株式会社 橋津系統	倉吉BC～小浜		A	C			
	日本交通株式会社 松崎系統	西倉吉～北方入口		A	C			
	日本交通株式会社 北条系統	倉吉BC～由良駅		A	A			
鳥取県西部地域公 共交通活性化協議 会	日ノ丸自動車株式会社 境系統	米子駅～境港駅	事業者、県及び市町村が行っている 利用促進等の取り組みを継続し た。	A	A	○外国人旅行者を含めた観光利用の 促進を図る。 ○事業者、県及び市町村が行っている 利用促進の取組を継続し、一般 住民を中心とした利用者の増加を図 る。 ○GTFSを活用した経路検索システム の普及やキャッシュレス決済 の導入など、利用者の利便性向上を 進める。 ○交通系ICにより得られたデータを活用 した路線の見直しや効果的な取組 の実施	各系統は、計画どおり運行されており評価 できる。 目標達成についても一部系統を除き達成で きており評価できる。なお、目標達成に至っ ていない系統については、要因について分 析し、改善点を検討することで効果的な改 善につなげていくことを期待する。	
	日ノ丸自動車株式会社 境系統	米子駅～米子鬼太郎空 港		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 根雨系統	米子駅～日野病院		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 根雨系統	米子駅～谷川		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 皆生日吉津循環線	米子駅～イオン東館～米 子駅		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 日吉津系統	米子駅～皆生温泉観光 センター～イオン東館		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～峰～下 鴨部日ノ丸車庫前		A	C			
	日本交通株式会社 皆生日吉津循環系統	米子駅～イオン東館～米 子駅		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日
中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県東部地域公共交通活性化協議会	日ノ丸自動車株式会社 中河原、智頭、用瀬、白 兔海岸、上井/三朝、赤 碕、境、根雨、皆生日吉 津循環、日吉津、法勝寺	ノンステップバス 6台購入	引き続き計画的にバリアフリー対 応の車両へ更新した。	A	A	○目標は長期的なものとして適切である と判断。 ○降雪時の運行上、全ての車両をバ リアフリー対応にできない状況もあるた め、引き続き対応可能な範囲でバ リアフリー対応の車両へ更新していく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価 できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目 標は、令和12年度末までにノンステップバ ス割合が90%とされているところであるが 東部を除き既に達成されており評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両 の導入が推進されることを期待する。	
鳥取県中部地域公共交通協議会	日本交通株式会社 岩美岩井、八頭若桜、関 金、橋津、松崎、北条、 皆生日吉津循環	ノンステップバス 6台購入	引き続き計画的にバリアフリー対 応の車両へ更新した。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松江市公共交通 利用促進市民会 議	一畑バス株式会社 万原線	一畑バス本社～美保関 ターミナル前	公共交通のPRイベント(バスまつり、乗り方教室)を実施し、バス利用の啓発に努めた。	A	B	引き続き利用促進のイベントを開催し、利用啓発に努める。 ・万原線で松江市交通局と等間隔ダイヤの運行を行い、利便性向上を図る。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	一畑バス株式会社 恵曇線	一畑バス本社～恵曇		A	B			
	一畑バス株式会社 玉造線	松江しんじ湖温泉～玉造温泉		A	B			
出雲市地域公共 交通活性化協議 会	一畑バス株式会社 須佐線	上塩治車庫～出雲須佐	公共交通の利用しやすい環境を整備し、バス利用の啓発に努めた。 ・須佐神社への延伸している ・商業施設とのタイアップ企画を計画したが実施はできなかった。 ・JALと連携し、JALMaasを利用したデジタルチケットを造成した。	A	C	路線検索手段の充実、定期券のWEB販売への対応により利用者の利便を高める。また、イベントの開催または参加し、利用啓発に努める。 引き続き行政と沿線住民、事業者が連携し、より一層の利用促進に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については、達成に至っていない要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	一畑バス株式会社 大社線	上塩治車庫～出雲大社 バスターミナル		A	C			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大田市地域公共交通協議会	石見交通株式会社 大田江津	大田市立病院前～済生会病院	イベント等に参加し、体験乗車、免許返納割引制度のPR等による利用促進に努めた。 また、交通系ICカードのPRを行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行うとともに、イベント等に参加しPR活動を続ける。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も関係自治体と連携し、ダイヤ改正や各種イベントへの参加、体験乗車等により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
江津市地域公共交通会議	石見交通株式会社 周布江津	周布～江津駅前 (西波子・済生会病院)	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納割引制度のPR ・市生活バス再編の検討 ・乗務員の確保 ・地域住民との意見交換会 ・バスマップ&時刻表の作成(全戸配布、HP掲載) ・市生活バスへのキャッシュレス決済システムの導入 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行う。 ・イベント等に参加しPR活動を続ける。 ・接続を考慮した市生活バスのダイヤ設定を検討する。 	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	石見交通株式会社 大田江津	大田市立病院前～済生会病院	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納割引制度のPR ・市生活バス再編の検討 ・乗務員の確保 ・地域住民との意見交換会 ・バスマップ&時刻表の作成(全戸配布、HP掲載) ・市生活バスへのキャッシュレス決済システムの導入 ・市AI乗合交通の特定料金設定(4条バス停留所利用は普通料金の半額) 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場面でキャッシュレス決済が利用できる環境整備を推進する。 ・バスマップ&時刻表、NAVITIMEへの情報掲載を継続する。 ・より分かりやすい情報提供を目指し、経路検索のデジタル化(GTFSデータの整備)に取り組む。 	今後も関係自治体と連携し、ダイヤ改正や各種イベントへの参加、キャッシュレス決済の環境整備や経路検索のデジタル化等により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
三江線沿線地域 公共交通活性化 協議会	石見交通株式会社 江津川本	済生会病院(江津高校前) ～石見川本	イベント等に参加し、体験乗車、免許返納割引制度のPR等による利用促進に努めた。また、交通系ICカードのPRを行う、利用促進に努めた。	A	B	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め、利用促進を行う。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については、達成に至っていない部分については要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も関係自治体と連携し、ダイヤ改正や各種イベントへの参加、体験乗車等により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
浜田市地域公共 交通活性化協議 会	石見交通株式会社 浜田益田	石見交通本社前～浜田 駅前	以下の事業の実施 ・体験乗車会 ・免許返納割引制度PRや交通系ICカードの利用促進	A	C	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行うとともに効率的な運行に努める。 イベント等に参加しPR活動を続ける。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については、一部系統を除き輸送人員については目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	石見交通株式会社 弥栄	浜田駅前～弥栄支所		A	B			
	石見交通株式会社 周布江津	周布～江津駅前 (西波子・済生会病院)		A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
益田市地域公共交通活性化協議会	石見交通株式会社 広益	石見交通本社前～広島 新幹線口(清流ライン 高 津川号)	イベント等に参加し、体験乗車、免許返納割引制度のPR等による利用促進に努めた。 また、交通系ICカードのPRを行い、利用促進に努めた。	A	B	お客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行う。 引き続きイベント等に参加しPR活動を続ける。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については、一部系統を除き輸送人員については目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も関係自治体と連携し、ダイヤ改正や各種イベントへの参加、体験乗車等により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	石見交通株式会社 小浜江崎	医光寺前～江崎港(須佐駅前)		A	C			
	石見交通株式会社 津和野	医光寺前～津和野温泉		A	B			
	石見交通株式会社 都茂	益田駅前～二川		A	C			
	石見交通株式会社 浜田益田	石見交通本社前～浜田駅前		A	C			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
吉賀町地域公共交通会議	石見交通株式会社 広益	石見交通本社前～広島 新幹線口(清流ライン 高 津川号)	免許返納割引制度のPR等による 利用促進に努めた。	A	B	引き続き利用者のニーズを把握し、ダ イヤ改正等に努め利用促進を行う。	各系統は、計画どおり運行されており評 価できる。 目標効果についても輸送人員・収支率に おいては目標を達成できている点につ いては評価できる。なお、目標達成に至 っていない部分については、要因について分 析し、改善点を検討することで効果的な 改善につなげていくことを期待する。 今後も関係自治体と連携し、ダイヤ改正 や各種イベントへの参加等により利便性 の向上、利用促進に繋がることを期待す る。	
津和野町地域公共交通会議	石見交通株式会社 広益	石見交通本社前～広島 新幹線口(清流ライン 高 津川号)	イベント等に参加し、体験乗車、免 許返納割引制度のPR等による利 用促進に努めた。 また、交通系ICカードのPRを行 い、利用促進に努めた。	A	B	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイ ヤ改正等に努め利用促進を行う。 イベント等に参加し、PR活動を続ける。	各系統は、計画どおり運行されており評 価できる。 目標効果についても輸送人員においては 目標を達成できている点については評価 できる。なお、目標達成に至っていない部 分については、要因について分析し、改 善点を検討することで効果的な改善につ なげていくことを期待する。	
	石見交通株式会社 津和野	医光寺前～津和野温泉		A	B			今後も関係自治体と連携し、ダイヤ改正 や各種イベントへの参加、体験乗車等 により利便性の向上、利用促進に繋がる ことを期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松江市公共交通 利用促進市民会 議	一畑バス株式会社	計画に基づき車両2両を 購入	計画どおりノンステップバス2両の 導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおり車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	
出雲市地域公共 交通活性化協議 会	一畑バス株式会 社	上塩治車庫 ~ 出雲須 佐 上塩治車庫~出雲大社 バスターミナル	計画に沿って、今年度は車両の購 入をしておらず、現行車両の適切 な維持に努めた。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおり車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	
江津市地域公共 交通会議	石見交通株式会 社	計画に基づき車両1両を 購入	計画どおりノンステップバス1両の 導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおり車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているが既に90%以上を達成しており 評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	

評価対象事業名：車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
三江線沿線地域 公共交通活性化 協議会	石見交通株式会社	■減価償却費補助 対象車両 1台	計画通りノンステップ型車両の導 入が図れた。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているが既に90%以上を達成しており 評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	
浜田市地域公共 交通活性化協議 会	石見交通株式会社	計画に基づき車両3両を 購入	計画どおりノンステップバス3両の 導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているが既に90%以上を達成しており 評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	
益田市地域公共 交通活性化協議 会	石見交通株式会社	計画に基づき車両2両を 購入	計画通りノンステップバス2両の導 入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているが既に90%以上を達成しており 評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	
津和野町地域公 共交通会議	石見交通株式会社	ノンステップバス車両導 入 津和野線令和3年度導入 分 1両	計画通りノンステップ型車両の導 入が図れた。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバ スの導入を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており 評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフ リー化に関する目標は、令和12年度末 までにノンステップバス割合が90%とさ れているが既に90%以上を達成しており 評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
岡山市公共交通 網形成協議会	下津井電鉄株式会社	A-2 岡山線 天満屋～JR児島駅前	岡山・児島地区の観光PRを実施し、生活交通路線だけの運行に留まらず旅行者への利用を促進していく。	A	C	運行ダイヤの再編成の実施と岡山市地域公共交通計画による初乗り運賃の適正化も含め新しい運賃体系を検討する。 倉敷市においても同等の施策の実施に向けて検討していく。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、運賃改定の実施もあり収支率自体は自体前年度よりは改善しているものの、その他の目標含め達成に至っていないため、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。
	下津井電鉄株式会社	D-19 茶屋町線 倉敷駅～下電バス興除営業所	倉敷地区の観光PRを実施し、生活交通路線だけの運行に留まらず旅行者への利用を促進していく。	A	C	運行ダイヤの再編成の実施と岡山市地域公共交通計画による新しい運賃体系を検討する。 倉敷市においても同等の施策の実施に向けて検討していく。	今後も、ホームページ上への沿線施設の掲載、バスロケータを活用したダイヤ改正、観光分野でのPR等により、観光客も含めた利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
	中鉄バス株式会社	天満屋BC～リハビリセンター前	関係自治体と連携し、広報誌を活用する等して利用促進を図った。	A	A	引き続き関係自治体と連携し、広報誌を活用する等して利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、関係自治体と連携し、広報誌の活用等により利用促進に繋がることを期待する。
	中鉄北部バス株式会社	岡山～勝山	高速道路上の乗り場がわかり難いため、乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	A	高速道路上の乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、乗り場案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、利便性の向上、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。
	備北バス株式会社	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及びおかやま愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	B	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物等を主とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率29%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、学校訪問等による新規利用者の掘り起こし、自治体と連携した広報誌への時刻表の掲載等により利用促進に繋がることを期待する。

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山市公共交通 網形成協議会	両備ホールディングス 株式会社	西大寺～西大寺駅・神崎 ～牛窓(牛窓南線)	・JR西日本が発行するデジタルフリーパスに参画し、牛窓地区への誘客の取り組みを実施 ・2025年3月に運賃改定を行い、収入の確保を図った。	A	B	JR西大寺駅で接続する鉄道のダイヤに応じた時刻設定、地域のニーズに応じた路線の設定を行う。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については一部系統を除き輸送人員・経常収支差額のいずれかまたは両方達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統・部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～宇野駅前/たまの 病院前 (小串銚立上山坂線)	・たまの病院開業に伴い、経路変更等を実施 ・高校の入学者説明会において定期券、バス通学の案内を実施 ・玉野市内の小学校等に対して、バスの乗り方教室を実施 ・2025年3月に運賃改定を行い、収入の確保を図った。	A	C	利用実態に応じてダイヤの見直しと、ニーズに応じた路線の設定を行うことにより、沿線の利用者の利便の向上を図る。		
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内支 所～洪川三丁目(荘内洪 川線)	・高校の入学者説明会において定期券、バス通学の案内を実施 ・2025年3月に運賃改定を行い、収入の確保を図った。	A	A	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。		
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田～深山 公園入口(深山公園線)		A	B	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。		
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・田井～ 玉野市役所前(玉野市役 所線)		A	A	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。		
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内支 所～宇野駅前(荘内宇野 駅線)		A	A	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。		
玉野市地域公共 交通会議	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～宇野駅前/たまの 病院前 (小串銚立上山坂線)	・たまの病院開業に伴い、経路変更等を実施 ・高校の入学者説明会において定期券、バス通学の案内を実施 ・玉野市内の小学校等に対して、バスの乗り方教室を実施 ・2025年3月に運賃改定を行い、収入の確保を図った。	A	C	利用実態に応じてダイヤの見直しと、ニーズに応じた路線の設定を行うことにより、沿線の利用者の利便の向上を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については一部系統を除き輸送人員・経常収支差額のいずれかまたは両方達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統・部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内支 所～洪川三丁目(荘内洪 川線)	A	A	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。			
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田～深山 公園入口(深山公園線)	A	B	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。			
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・田井～ 玉野市役所前(玉野市役 所線)	A	A	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。			
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内支 所～宇野駅前(荘内宇野 駅線)	A	A	利用実態に応じた運行ダイヤの見直しを検討する。			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
瀬戸内市地域公共交通会議	両備ホールディングス株式会社	西大寺～西大寺駅・神崎～牛窓(牛窓南線)	・JR西日本が発行するデジタルフリーパスに参画し、牛窓地区への誘客の取り組みを実施 ・2025年3月に運賃改定を行い、収入の確保を図った。	A	B	JR西大寺駅で接続する鉄道のダイヤに応じた時刻設定、地域のニーズに応じた路線の設定を行う。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、利用実態やニーズに合わせたダイヤ改正、イベントへの参加等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
矢掛町地域公共交通会議	株式会社井笠バスカンパニー	笠岡～矢掛	他モードとの乗継を確保し、運行実態を反映した時分設定の見直し、定時制の確保等、利便性の向上による利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、バスの乗り方教室の実施やバスロケ実績データに基づく遅延対策及び利用実態・利用者の要望等に沿ったダイヤの見直しにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
奈義町地域公共交通会議	中鉄北部バス株式会社	津山～行方	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	B	ダイヤ改正にあわせて沿線の観光情報等を掲載した時刻表を新たに作成し、関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
吉備中央町地域 公共交通会議	中鉄バス株式会社	天満屋BC～リハビリセン ター前	関係自治体と連携し、広報誌を活用する等して利用促進を図った。	A	A	引き続き関係自治体と連携し、広報誌を活用する等して利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、関係自治体と連携し、広報誌の活用等により利用促進に繋がることを期待する。
	中鉄北部バス株式会社	岡山～勝山	高速道路上の乗り場がわかり難いため、乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	A	高速道路上の乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、乗り場案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、利便性の向上、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。
	備北バス株式会社	高梁駅～リハビリセン ター～吉川	昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率46%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、学校訪問等による新規利用者の掘り起こし、自治体と連携した広報誌への時刻表の掲載等により利用促進に繋がることを期待する。

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
倉敷市地域公共交通会議	下津井電鉄株式会社	A-2 岡山線 天満屋～JR児島駅前	岡山・児島地区の観光PRを実施し、生活交通路線だけの運行に留まらず旅行者への利用を促進していく。	A	C	運行ダイヤの再編成の実施と岡山市地域公共交通計画による初乗り運賃の適正化も含め新しい運賃体系を検討する。 倉敷市においても同等の施策の実施に向けて検討していく。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、運賃改定の実施もあり収支率自体は自体前年度よりは改善しているものの、その他の目標含め達成に至っていないため、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。
	下津井電鉄株式会社	D-19 茶屋町線 倉敷駅～下電バス興除営業所	倉敷地区の観光PRを実施し、生活交通路線だけの運行に留まらず旅行者への利用を促進していく。	A	C	運行ダイヤの再編成の実施と岡山市地域公共交通計画による新しい運賃体系を検討する。 倉敷市においても同等の施策の実施に向けて検討していく。	今後も、ホームページ上への沿線施設の掲載、バスロケータを活用したダイヤ改正、観光分野でのPR等により、観光客も含めた利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
	琴参バス株式会社	瀬戸大橋線 坂出駅前～JR児島駅	<p><前回の評価結果の概要> チケットQRについては、引き続き坂出市と連携して広報する。 島民の生活利用だけではなく観光目的での利用も含め企画等を検討する。</p> <p><評価結果の反映状況> ①坂出市と連携し市内公共交通マップを作成、観光協会や地域のコミュニティ施設に配布することで新規利用者の掘り起こし及び啓発活動を行った。 ②Google検索できるようGTFS化に取り組み利用促進に努めるとともに最新の情報をGoogleへ提供できるように自社で継続して更新を行った。 ③バスロケーションシステムを導入し利便性向上を図った。 ④坂出市地域公共交通利便増進実施計画に基づき、運賃をゾーン制運賃に見直すとともに、坂出市内の路線バスで共通して使用できるキャッシュレス決済「チケットQR」を導入し、合わせて同システムを使用した市民割引や無料デーを実施することで、バス利用者の運賃負担軽減、利用促進を図った。</p>	A	B	チケットQR決済について坂出市と連携して広報する。 島民の生活利用だけではなく観光目的での利用も含め企画・ダイヤ等を検討する。	<p>系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。</p> <p>目標効果についても、輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。</p> <p>今後も、キャッシュレス決済の促進、観光客をターゲットした取り組みにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。</p>
津山市地域公共交通会議	中鉄北部バス株式会社	津山～行方	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	B	ダイヤ改正にあわせて沿線の観光情報等を掲載した時刻表を新たに作成し、関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福山・笠岡地域公共交通活性化協議会	株式会社井笠バスカンパニー	笠岡～矢掛	他モードとの乗継を確保し、運行実態を反映した時分設定の見直し、定時制の確保等、利便性の向上による利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。	
	株式会社井笠バスカンパニー	笠岡～井原	引き続き他モードとの乗継を確保し、井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	C	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。運行実態を反映した時分設定に見直し、定時性を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施。	目標の達成状況については、一部系統を除き輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統・部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	株式会社井笠バスカンパニー	篠坂～福山	引き続き井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。運行実態を反映した時分設定の見直しを行った。	A	B	利用者からの要望及び井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施。	今後も、バスの乗り方教室の実施やバスロケ実績データに基づく遅延対策及び利用実態・利用者の要望等に沿ったダイヤの見直しにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
井原市公共交通会議	株式会社井笠バスカンパニー	井原～福山	引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。運行実態を反映した時分設定に見直し、定時性を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。	
	株式会社井笠バスカンパニー	笠岡～井原	引き続き他モードとの乗継を確保し、井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	C	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山圏域バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。運行実態を反映した時分設定に見直し、定時性を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施。	目標の達成状況については、一部系統において輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統・部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
高梁市地域公共交通会議	中鉄北部バス株式会社	岡山～勝山	高速道路上の乗り場がわかり難いため、乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	A	高速道路上の乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、乗り場案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、利便性の向上、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。
	備北バス株式会社	高梁駅～塩坪～皆部	関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率25%台を目指していきたい。	
	備北バス株式会社	高梁駅～リハビリセンター～吉川	昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率46%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。
	備北バス株式会社	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及びおかやま愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	B	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物等を主とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率29%台を目指していきたい。	今後も、学校訪問等による新規利用者の掘り起こし、自治体と連携した広報誌への時刻表の掲載等により利用促進に繋がることを期待する。
	備北バス株式会社	地頭～古町～高梁駅	昨年度に引き続き高校生の通学補助及びおかやま愛カードの広報を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率43%台を目指していきたい。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
真庭市地域公共交通会議	中鉄北部バス株式会社	岡山～勝山	高速道路上の乗り場がわかり難いため、乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	A	高速道路上の乗り場の案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表を関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も、乗り場案内図及び沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、利便性の向上、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。
	備北バス株式会社	高梁駅～塩坪～皆部	関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率25%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、学校訪問等による新規利用者の掘り起こし、自治体と連携した広報誌への時刻表の掲載等により利用促進に繋がることを期待する。
総社市地域公共交通会議	備北バス株式会社	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及びおかやま愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	B	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を中心とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率29%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、学校訪問等による新規利用者の掘り起こし、自治体と連携した広報誌への時刻表の掲載等により利用促進に繋がることを期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山市公共交通 網形成協議会	中鉄バス株式会社	ノンステップ型スロープ付きバス1両導入 天満屋BC～リハビリセンター前線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	中鉄北部バス株式会社	都市型連絡用バス1両導入 岡山～勝山線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	両備ホールディングス株式会社	ワンステップバス2両継続 申請系統(牛窓南線を除く5路線)で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。	
	両備ホールディングス株式会社	ワンステップバス2両継続 申請系統(牛窓南線を除く5路線)で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玉野市地域公共交通会議	両備ホールディングス株式会社	ワンステップバス2両継続申請系統(牛窓南線を除く5路線)で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。	
	両備ホールディングス株式会社	ワンステップバス2両継続申請系統(牛窓南線を除く5路線)で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
奈義町地域公共交通会議	中鉄北部バス株式会社	ノンステップ型スロープ付きバス1両継続津山駅～行方線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
吉備中央町地域 公共交通会議	中鉄バス株式会社	ノンステップ型スロープ付きバス1両導入 天満屋BC～リハビリセンター前線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。
	中鉄北部バス株式会社	都市型連絡用バス1両導入 岡山～勝山線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。
倉敷市地域公共交通会議	琴参バス株式会社	超低床スロープ付きバス1両継続 瀬戸大橋線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。
津山市地域公共交通会議	中鉄北部バス株式会社	ノンステップ型スロープ付きバス1両継続 津山駅～行方線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
福山・笠岡地域 公共交通活性化 協議会	株式会社井笠バスカン パニー	ノンステップバス5両継続 申請系統4路線で運行	今年度は車両代替を行わなかった。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。
井原市公共交通 会議	株式会社井笠バスカン パニー	ノンステップバス5両継続 申請系統4路線で運行	今年度は車両代替を行わなかった。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。
高梁市地域公共 交通会議	中鉄北部バス株式会社	都市型連絡用バス1両導 入 岡山～勝山線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。
真庭市地域公共 交通会議	中鉄北部バス株式会社	都市型連絡用バス1両導 入 岡山～勝山線で運行	—	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和8年2月24日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
山口市公共交通 委員会	防長交通株式会社	堀～中山～防府駅前	関係自治体と連携して利用しやすいダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。 利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。 交通ICカードシステムのPRなどを積極的にを行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。 バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても一部系統を除き輸送人員においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バスの乗り方教室の開催をはじめとした各取組みやイベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	堀～和字～防府駅前		A	C			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	スポーツの森前～西京橋～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	宮野温泉～西京橋～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘		A	B			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	新山口駅～大田～東萩駅前		A	B			
	防長交通株式会社	新山口駅～十文字～秋芳洞		A	A			
宇部市交通局	新山口線(特急) 宇部新川駅～山口宇部道路～新山口駅	路線維持のため、バス停車表の停留所掲示や時刻冊子の配布など、PRに取り組んだ。	A	B	引き続き、バス利用促進につながるよう、時刻表の改善や各種イベントへの参加、乗り方教室の実施等により、PRに努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。		
宇部市交通局	新山口線(普通) 宇部新川駅～サンパークあじす・東岐波商業団地前～新山口駅	路線バス100円デー(宇部市主催)への参加や、感謝デー(全線1乗車100円)の実施により公共交通の利用促進に取り組んだ。 主に小学生に乗り方教室を実施し、生活交通路線の利用促進に取り組んだ。	A	B	バスロケーションシステムの改善や、SNS等を活用した情報発信を強化していく。 ICカード利用率向上のため、乗り方教室など、直接体験できる機会を増やしていく。	目標効果の達成状況については、輸送人員においては一定の数値を維持できている点については評価できる。一方で収支率については、いずれも目標達成に至っていないため、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。		
宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村～サンパークあじす	バスロケーションシステムによる情報提供の充実を努めた。	A	B	宇部市の政策により市内の小中学生のバス運賃が無料化しているが、親世代を含めてバスの利用方法がまだ浸透できていない。全世代(特に親世代)をターゲットに利用方法を周知させる必要あり。	目標達成に向けた取組については、各種イベントへの参加や乗り方教室の開催、バスロケーションシステムの改善、SNS等の活用により利便性の向上や利用促進に繋がることを期待する。		
宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村・ミスターマックス宇部店～サンパークあじす	ICカード利用促進のため、紙回数券の廃止や乗継割引の拡大を実施した。 JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売	A	B				

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口市公共交通 委員会	JRバス中国株式会社	D74 山口駅～昭和町・ゆめタウン山口～防府駅		A	B	引き続き関係行政など地域との連携を 図り、バスの乗り方や運行情報提供を 行い、公共交通への転嫁を促すこと で、恒常的なバス利用に繋げる。	各系統は、計画どおり適切に運行されて おり、評価できる。 目標効果の達成状況については、輸送人 員においては一定の数値を維持できてい る点については評価できる。収支率につ いては、目標達成に至っていない系統も あった為、その要因について分析し、改 善点を検討することで効果的な改善につ なげていくことを期待する。 今後も、関係自治体等と連携し、運行情 報のHP掲載や交通系ICカードのPR、こ ども50円バスの取組み等により、利便性向 上、利用促進に繋がることを期待する。	
	JRバス中国株式会社	D77 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～ 中尾口	市が発行する時刻表に交通系IC カードシステム(ICOCA)利用方法 を掲出し、リーフレットやチラシ配 布等を実施し、学期休み中のこ ども50円バス実施の周知を行うこと でバスの利用促進に繋がった。そ の他、イベント開催時の迂回情報 を当社HPに掲載することで利便性 の向上を図った。	A	B			
	JRバス中国株式会社	D109 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～ 山口大学		A	B			
	JRバス中国株式会社	D127 山口駅～県庁・野田・明倫センター～東萩駅		A	A			
防府市地域公共 交通活性化協議 会	防長交通株式会社	防府駅前～新南陽駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易 いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り 方教室の開催、学生フリー乗車 券、小児運賃一律50円キャン ペーン等PRに取り組み利用促 進を図った。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がる よう、ダイヤ改正等を行い、関係市 町と連携して利用し易いバスを目 指していく。 また、各イベントへの参加、バス乗 り方教室の開催、学生フリー乗車 券、小児運賃一律50円キャンペ ーン等PRを継続的に努め、利用促進 を図る。 バスロケーションシステム、交通IC カードシステムを幅広く周知し、新 規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評 価できる。 目標効果についても一部系統を除き輸送 人員においては目標を達成できてい る点については評価できる。なお、目標達成 に至っていない系統については、要因に ついて分析し、改善点を検討すること で効果的な改善につなげていくことを期待す る。 今後も、関係自治体と連携したダイヤ改 正、バスロケーションシステムの活用、バ スの乗り方教室の開催をはじめとした各 取組みやイベントへの参加、交通系IC カードのPRにより利便性の向上、利用促 進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	堀～中山～防府駅前	利用者の利便性を向上させる ため、バスロケーションシステム 活用について周知を図った。	A	B			
	防長交通株式会社	堀～和字～防府駅前	交通ICカードシステムのPRなど を積極的にを行い、利用促進に 努めた。	A	C			
	JRバス中国株式会社	D74 山口駅～昭和町・ゆめタウン山口～防府駅	市が発行する時刻表に交通系 ICカードシステム(ICOCA)利用 方法を掲出し、リーフレットやチ ラシ配布等を実施し、学期休み 中のこども50円バス実施の周 知を行うことでバスの利用促進 に繋がった。その他、イベント開 催時の迂回情報を当社HPに掲 載することで利便性の向上を 図った。	A	B			
JRバス中国株式会社	D77 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～ 中尾口		A	B	引き続き関係行政など地域との連 携を図り、バスの乗り方や運行情 報提供を行い、公共交通への転嫁 を促すことで、恒常的なバス利用に 繋げる。	目標効果の達成状況については、輸送量 においては一定の数値を維持できてい る点については評価できる。収支率につ いては、目標達成に至っていない為、その 要因について分析し、改善点を検討す ることで効果的な改善につなげていくこと を期待する。		
JRバス中国株式会社	D109 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～ 山口大学		A	B				

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
美祢市地域公共交通協議会	防長交通株式会社	新山口駅～大田～東萩駅前	関係自治体と連携して利用しやすいダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果についても輸送量においては一定の水準を維持できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	防長交通株式会社	新山口駅～十文字～秋芳洞	利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	A	バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バスの乗り方教室の開催をはじめとした各取組みやイベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～美祢駅	引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響下にありますが路線の再編見直し等により底を打った感があります。R06.10.1より運行系統の整理、運番削減等をさらに推し進め、2024年問題への対応等効率的な運行に努めた。割引切符を整理統合した「サンデン1dayバス」開始(平日も福岡線を除く全線利用可能)、ICカード「ニモカ」と各種「フリー定期」の周知、利便性の向上と収入増に努める。その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定(内容:免許返納日より1年以内の方1000円割引)、小学生へのバス乗り方教室実施、下関市生涯学習課主催「出前講座」に登録しバス乗り方教室の実施、等により、バス利用促進をPRした。	A	A	引き続きICカード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。併せて令和3年6月以降バスカード廃止。令和8年5月までバスカードの払い戻しを実施する。事業改善のため、国庫補助系統ほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。 令和7年8月23日より運賃改定実施、今後の収支改善に努める。 引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。 また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供、学生需要拡大やバスの乗り方教室開催、スマートフォン決済の推進により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	ブルーライン交通株式会社	豊田町西市～美祢青嶺高校～来福台	令和6年10月より、フリー定期券のスマホ定期券を発売開始し、利便性の向上とPRに努めた。 また、小児運賃一律50円キャンペーン等によりバス利用の促進をPRした。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるようダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。 また利便性を向上させた路線編成の周知PR、各イベントへの参加、学生フリー定期券等のPRを継続的に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、関係市町と連携して、より利用者が利用しやすいダイヤ改正、利便性のPR、各イベントへの参加等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	ブルーライン交通株式会社	豊田町西市～平原・市立病院～来福台		A	B			

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	
宇部市公共交通協議会	船木鉄道株式会社	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サンパーク～本山岬 船木～サンパーク～刈屋～本山岬 船木～市民病院～サンパーク～刈屋～本山岬	乗務員不足の影響でR6年10月に大幅な減便を実施した。それに伴い路線の再編を行った。 宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A	C	バスの利用促進につながるよう、時刻表の改善や乗り方教室の実施等を通じたバスのPRに努めるとともに、バスロケーションシステムの活用や、キャッシュレス決済機器やデジタル定期券を導入し利便性の向上を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果についても一部系統を除き輸送人員・収支率においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、より利用者が利用しやすいダイヤ改正、乗り方教室の実施、バスロケーションシステムの活用等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	船木鉄道株式会社	船木～宇部市役所	乗務員不足の影響でR6年10月に減便を実施した。 宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A	B			
	船木鉄道株式会社	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇部中央 厚狭駅～労災病院～宇部中央 厚狭駅～労災病院～サンパーク～宇部中央	R6年10月にダイヤ改正を行い利便性の向上を図った。 宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A	B			
	宇部市交通局	新山口線(特急) 宇部新川駅～山口宇部道路～新山口駅		A	B			
	宇部市交通局	新山口線(普通) 宇部新川駅～サンパークあじす・東岐波商業団地前～新山口駅	路線維持のため、バス停車表の停留所掲示や時刻冊子の配布など、PRに取り組んだ。	A	B	引き続き、バス利用促進につながるよう、時刻表の改善や各種イベントへの参加、乗り方教室の実施等により、PRに努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果についても一部系統を除き輸送人員・経常有益においては目標を達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない系統については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 宇部市の政策により市内の小中学生のバス運賃が無料化しているが、親世代を含めてバスの利用方法がまだ浸透できていない。全世代(特に親世代)をターゲットに、引き続き、利用方法を周知していく必要がある。	
	宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村～サンパークあじす	路線バス100円デー(宇部市主催)への参加や、感謝デー(全線1乗車100円)の実施により公共交通の利用促進に取り組んだ。	A	C	バスロケーションシステムの改善や、SNS等を活用した情報発信を強化していく。		
	宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村・ミスターマックス宇部店～サンパークあじす	主に小学生に乗り方教室を実施し、生活交通路線の利用促進に取り組んだ。	A	C	ICカード利用率向上のため、乗り方教室など、直接体験できる機会を増やしていく。		
	宇部市交通局	小野田線 小野田営業所～大学病院前～常盤町二丁目	バスロケーションシステムによる情報提供の充実にも努めた。	A	C			
	宇部市交通局	ICカード利用促進のため、紙式回数券の廃止や乗継割引の拡大を実施した他、JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売を行った。	A	B				
宇部市交通局	西ヶ丘日赤線 西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日赤前		A	B				

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山陽小野田市地 域公共交通会議	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅・小野田駅～おのだサンパーク	引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響下にありますが路線の再編見直し等により底を打った感があります。 R06.10.1より運行系統の整理、運番削減等をさらに推し進め、2024年問題への対応等効率的な運行に努めた。 割引切符を整理統合した「サンデン1dayバス」開始(平日も福岡線を除く全線利用可能)、ICカード「ニモカ」と各種「フリー定期」の周知、利便性の向上と収入増に努める。 その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定(内容:免許返納日より1年以内の方1000円割引)、小学生へのバス乗り方教室実施、下関市生涯学習課主催「出前講座」に登録バス乗り方教室の実施、等により、バス利用促進をPRした。	A	A	引き続きICカード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。 併せて令和3年6月以降バスカード廃止。令和8年5月までバスカードの払い戻しを実施する。 事業改善のため、国庫補助系統ほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。 令和7年8月23日より運賃改定実施、今後の収支改善に努める。 引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。 また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供、学生需要拡大やバスの乗り方教室開催、スマートフォン決済の推進により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	船木鉄道株式会社	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サンパーク～本山岬 船木～サンパーク～刈屋～本山岬 船木～市民病院～サンパーク～刈屋～本山岬	乗務員不足の影響でR6年10月に大幅な減便を実施した。それに伴い路線の再編を行った。 宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A	B		各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標効果については、経常収益においては目標を達成しており、輸送量については一定の水準を維持できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。	
	船木鉄道株式会社	船木～宇部市役所	乗務員不足の影響でR6年10月に減便を実施した。 宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A	B	バスの利用促進につながるよう、時刻表の改善や乗り方教室の実施等を通じたバスのPRに努めるとともに、バスロケーションシステムの活用や、キャッシュレス決済機器やデジタル定期券を導入し利便性の向上を図る。	今後も、より利用者が利用しやすいダイヤ改正、乗り方教室の実施、バスロケーションシステムの活用、交通系ICカード導入により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	船木鉄道株式会社	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇部中央 厚狭駅～労災病院～宇部中央 厚狭駅～労災病院～サンパーク～宇部中央	R6年10月にダイヤ改正を行い利便性の向上を図った。 宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A	B			

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山陽小野田市地域公共交通協議会	宇部市交通局	小野田線 小野田営業所～大学病院前～常盤町二丁目	路線維持のため、バス停車表の停留所掲示や時刻冊子の配布など、PRに取り組んだ。 路線バス100円デー(宇部市主催)への参加や、感謝デー(全線1乗車100円)の実施により公共交通の利用促進に取り組んだ。 主に小学生に乗り方教室を実施し、生活交通路線の利用促進に取り組んだ。	A	B	引き続き、バス利用促進につながるよう、時刻表の改善や各種イベントへの参加、乗り方教室の実施等により、PRに努める。 バスロケーションシステムの改善や、SNS等を活用した情報発信を強化していく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。	
	宇部市交通局	西ヶ丘日赤線 西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日赤前	バスロケーションシステムによる情報提供の充実に努めた。 ICカード利用促進のため、紙式回数券の廃止や乗継割引の拡大を実施した。 JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売	A	B	ICカード利用率向上のため、乗り方教室など、直接体験できる機会を増やしていく。 宇部市の政策により市内の小中学生のバス運賃が無料化しているが、親世代含めてバスの利用方法がまだ浸透できていない。全世帯(特に親世代)をターゲットに利用方法を周知させる必要あり。	目標効果についても輸送量においては一定の水準を維持できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 目標達成に向けた取組については、各種イベントへの参加や乗り方教室の開催、バスロケーションシステムの改善、SNS等の活用により利便性の向上や利用促進に繋がることを期待する。	
岩国市地域公共交通活性化再生協議会	石見交通株式会社	広益線 石見交通本社前～(清流ライン 高津川号)～広島新幹線口	イベント等に参加し、体験乗車、免許返納割引制度のPR等による利用促進に努めた。 また、交通系ICカードの利用促進を図った。	A	A	生活交通を持続的に維持するための支援を行い、事業者には経営努力を求めながらサービス向上による利用促進を図る。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。 今後も各種イベントへの参加、体験乗車等により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
周防大島町地域公共交通活性化協議会	防長交通株式会社	大島駅～周防久賀～町立橋医院前	防長交通(株)と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。 利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。 交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等の協議を行い、防長交通(株)と連携して利用し易いバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを防長交通とともに継続的に努め、利用促進を図る。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については、輸送人員又は収支率のいずれかを達成できている点は評価できる。目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、各イベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	大島駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前		A	B			
柳井市地域公共交通協議会	防長交通株式会社	柳井駅前～光駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。 利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。	A	B	バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については、輸送人員及び収支率の一部においては目標を達成できている点は評価できる。目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、各イベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	柳井駅前～イオン・平生～上関		A	B			
	防長交通株式会社	大島駅～周防久賀～町立橋医院前		A	B			
	防長交通株式会社	大島駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前		A	B			

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	
上関町地域公共交通協議会	防長交通株式会社	柳井駅前～イオン・平生～上関	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果については、輸送量においては一定の水準を維持できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バスの乗り方教室の開催をはじめとした各取組みやイベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
平生町地域公共交通協議会	防長交通株式会社	柳井駅前～光駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	A	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果については一部を除き達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バスの乗り方教室の開催をはじめとした各取組みやイベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	柳井駅前～イオン・平生～上関	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できている点については評価できる。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バス乗り方教室の開催をはじめとした各取組み、交通系ICカードの導入拡大及び利用者へのPRにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
田布施町地域公共交通協議会	防長交通株式会社	柳井駅前～光駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	A	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できている点については評価できる。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バス乗り方教室の開催をはじめとした各取組み、交通系ICカードの導入拡大及び利用者へのPRにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
光市地域公共交通協議会	防長交通株式会社	柳井駅前～光駅～徳山駅前	○関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。 ○各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。 ○利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。 ○交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	○バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。 ○各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。 ○バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果については、輸送人員及び収支率においては目標を達成できている点は評価できる。目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バス乗り方教室の開催をはじめとした各取組み、交通系ICカードの導入拡大及び利用者へのPRにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
下松市地域公共 交通活性化協議会	防長交通株式会社	柳井駅前～光駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	A	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果については、一部を除き目標を達成できている点は評価できる。目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バス乗り方教室の開催をはじめとした各取組み、交通系ICカードの導入拡大及び利用者へのPRにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	徳山駅前～中央線～下松駅北口		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口		A	A			
	防長交通株式会社	徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口		A	A			
	防長交通株式会社	徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛		A	A			
周南市地域公共 交通会議	防長交通株式会社	柳井駅前～光駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。目標効果については、輸送人員においては目標を達成できている点は評価できる。目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バス乗り方教室の開催をはじめとした各取組み、交通系ICカードの導入拡大及び利用者へのPRにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	防府駅前～新南陽駅～徳山駅前		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～中央線～下松駅北口		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口		A	A			
	防長交通株式会社	徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内		A	B			
阿武町地域公共 交通会議	防長交通株式会社	萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果については輸送量においては一定の水準を維持できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バスの乗り方教室の開催をはじめとした各取組みやイベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
萩市地域公共交通協議会	防長交通株式会社	新山口駅～大田～東萩駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。交通ICカードシステムのPRなどを積極的にに行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果については輸送量においては一定の水準を維持できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も、関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バスの乗り方教室の開催をはじめとした各取組みやイベントへの参加、交通系ICカードのPRにより利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前		A	B			
	石見交通株式会社	小浜江崎線 医光寺～日赤・温泉～江崎港(須佐駅前)	イベント等に参加し、体験乗車、免許返納割引制度のPR等による利用促進に努めた。また、交通系ICカードの利用促進を図った。	A	B	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行うとともに、イベント等に参加しPR活動を続ける。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果については輸送量については達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。今後も各種イベントへの参加、体験乗車等により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	JRバス中国株式会社	D127 山口駅～県庁・野田・明倫センター～東萩駅	市が発行する時刻表に交通系ICカードシステム(ICOCA)利用方法を掲出し、リーフレットやチラシ配布等を実施し、学期休み中のことも50円バス実施の周知を行うことでバスの利用促進に繋がった。その他、イベント開催時の迂回情報を当社HPに掲載することで利便性の向上を図った。	A	A	引き続き関係行政など地域との連携を図り、バスの乗り方や運行情報提供を行い、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。目標効果についても達成できており評価できる。今後も、関係自治体等と連携し、運行情報のHP掲載や交通系ICカードのPR、こども50円バスの取組み等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
長門市公共交通協議会	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～大泊	引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響下にありますが路線の再編見直し等により底を打った感があります。 R06.10.1より運行系統の整理、運番削減等をさらに推し進め、2024年問題への対応等効率的な運行に努めた。 割引切符を整理統合した「サンデン1dayバス」開始(平日も福岡線を除く全線利用可能)、ICカード「ニモカ」と各種「フリー定期」の周知、利便性の向上と収入増に努める。 その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定(内容:免許返納日より1年以内の方1000円割引)、小学生へのバス乗り方教室実施、下関市生涯学習課主催「出前講座」に登録しバス乗り方教室の実施、等により、バス利用促進をPRした。	A	B	引き続きICカード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。併せて令和3年6月以降バスカード廃止。令和8年5月までバスカードの払い戻しを実施する。 事業改善のため、国庫補助系統ほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。 令和7年8月23日より運賃改定実施、今後の収支改善に努める。 引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については輸送量・収支率においては達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供、学生需要拡大やバスの乗り方教室開催、スマートフォン決済の推進により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
下関市地域公共交通協議会	サンデン交通株式会社	下関駅～唐戸～川棚温泉	引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響下にあります。路線の再編見直し等により底を打った感があります。	A	A	引き続きICカード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 目標効果については一部を除き達成できている点については評価できる。なお、目標達成に至っていない部分については、要因について分析し、改善点を検討することで効果的な改善につなげていくことを期待する。 今後も標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供、学生需要拡大やバスの乗り方教室開催、スマートフォン決済の推進により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	サンデン交通株式会社	下関駅～豊洋台三丁目～川棚温泉	R06.10.1より運行系統の整理、運番削減等をさらに推し進め、2024年問題への対応等効率的な運行に努めた。	A	A	併せて令和3年6月以降バスカード廃止。令和8年5月までバスカードの払い戻しを実施する。		
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅・小野田駅～おのだサンパーク	割引切符を整理統合した「サンデン1dayバス」開始(平日も福岡線を除く全線利用可能)、ICカード「ニモカ」と各種「フリー定期」の周知、利便性の向上と収入増に努める。	A	A	事業改善のため、国庫補助系統ほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。		
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～大泊	その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定(内容:免許返納日より1年以内の方1000円割引)、小学生へのバス乗り方教室実施、下関市生涯学習課主催「出前講座」に登録しバス乗り方教室の実施、等により、バス利用促進をPRした。	A	B	令和7年8月23日より運賃改定実施、今後の収支改善に努める。		
	サンデン交通株式会社	下関駅～下大野～豊田町西市		A	A	引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。		
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～美祢駅		A	A			
	ブルーライン交通株式会社	豊田町西市～美祢青嶺高校～来福台	令和6年10月より、フリー定期券のスマホ定期券を発売開始し、利便性の向上とPRに努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるようダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。		
	ブルーライン交通株式会社	豊田町西市～平原・市立病院～来福台	また、小児運賃一律50円キャンペーン等によりバス利用の促進をPRした。	A	B	また利便性を向上させた路線編成の周知PR、各イベントへの参加、学生フリー定期券等のPRを継続的に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和8年2月24日
中国運輸局

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口市公共交通 委員会	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大畠駅～周防久賀～町立橋医院前 ・大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢来の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋～新山口駅 ・スポーツの森前～西京橋～新山口駅 ・宮野温泉～西京橋～新山口駅 ・道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前 	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>	
	宇部市交通局	<p>ノンステップバス11両導入 令和3年度導入数=1両 令和4年度導入数=2両 令和5年度導入数=3両 令和6年度導入数=3両 令和7年度導入数=2両</p> <p>新山口線 阿知須線 小野田線</p>	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>	
	JRバス中国株式会社	<p>ノンステップバス導入 令和元年度導入分=2両 令和2年度導入分=1両 令和3年度導入分=0両 令和4年度導入分=2両 令和5年度導入分=2両 令和6年度導入分=0両 令和7年度導入分=0両</p> <p>D74系統 D77系統 D109系統 D127系統</p>	補助制度を活用した低床車両の推進に努めた。	A	A	車齢も考慮しつつ、計画的に補助制度を活用した低床車両の導入を行っている。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているが既に達成されており評価できる。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>	

評価対象事業名:車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
美祢市地域公共交通協議会	サンデン交通株式会社	計10両(ノンステップバス 10両)導入 令和3年度導入分=2両 令和4年度導入分=2両 令和5年度導入分=2両 令和6年度導入分=2両 令和7年度導入分=2両 国道線、西市線 美祢線、北浦線 仙崎線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているが既に100%を達成しており評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
宇部市公共交通協議会	船木鉄道株式会社	ノンステップバス4両導入 令和4年度導入分=1両 令和5年度導入分=1両 令和6年度導入分=1両 令和7年度導入分=1両 本山線 宇部線 厚狭線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	B	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているが既に90%以上を達成しており評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	宇部市交通局	ノンステップバス11両導入 令和3年度導入数=1両 令和4年度導入数=2両 令和5年度導入数=3両 令和6年度導入数=3両 令和7年度導入数=2両 新山口線 阿知須線 小野田線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
山陽小野田市地域公共交通協議会	船木鉄道株式会社	ノンステップバス4両導入 令和4年度導入分=1両 令和5年度導入分=1両 令和6年度導入分=1両 令和7年度導入分=1両 本山線 宇部線 厚狭線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているが既に90%以上を達成しており評価できる。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	宇部市交通局	ノンステップバス11両導入 令和3年度導入数=1両 令和4年度導入数=2両 令和5年度導入数=3両 令和6年度導入数=3両 令和7年度導入数=2両 新山口線 阿知須線 小野田線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	

評価対象事業名:車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
柳井市地域公共交通協議会	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大畠駅～周防久賀～町立橋医院前 ・大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～袖木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋～新山口駅 ・スポーツの森前～西京橋～新山口駅 ・宮野温泉～西京橋～新山口駅 ・道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前 	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>
上関町地域公共交通会議	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大畠駅～周防久賀～町立橋医院前 ・大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～袖木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋～新山口駅 ・スポーツの森前～西京橋～新山口駅 ・宮野温泉～西京橋～新山口駅 ・道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前 	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>

評価対象事業名:車両減価償却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	
平生町地域公共交通協議会	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大畠駅～周防久賀～町立橋医院前 ・大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢来の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋～新山口駅 ・スポーツの森前～西京橋～新山口駅 ・宮野温泉～西京橋～新山口駅 ・道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前 	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>
下松市地域公共交通活性化協議会	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>
周南市地域公共交通協議会	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入(うち周南市関係路線15両) 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両(うち周南市関係路線分2両)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢来の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内 	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>

評価対象事業名:車両減価却費等国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
阿武町地域公共交通会議	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両</p> <p>・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大畠駅～周防久賀～町立橋医院前 ・大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～袖木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋～新山口駅 ・スポーツの森前～西京橋～新山口駅 ・宮野温泉～西京橋～新山口駅 ・道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前</p>	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>
下関市地域公共交通協議会	サンデン交通株式会社	<p>計10両(ノンステップバス 10両)導入 令和03年度導入分=2両 令和04年度導入分=2両 令和05年度導入分=2両 令和06年度導入分=2両 令和07年度導入分=2両 国道線、西市線 美祿線、北浦線 仙崎線</p>	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。</p> <p>国がまとめた乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和12年度末までにノンステップバス割合が90%とされているが既に100%を達成しており評価できる。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。</p>